

経営比較分析表（令和2年度決算）

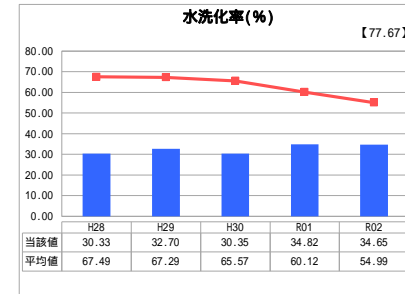
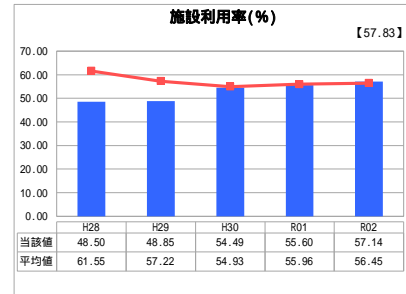
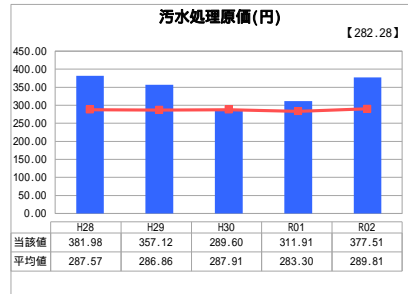
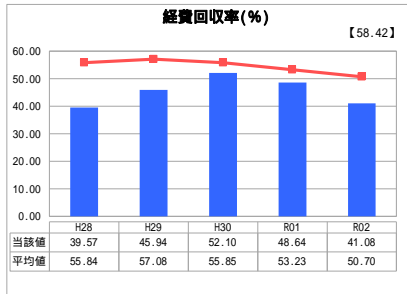
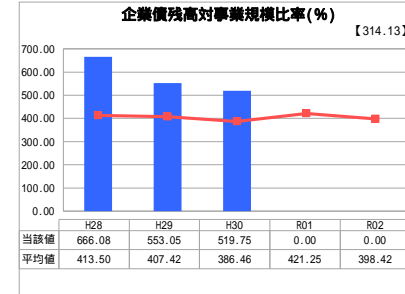
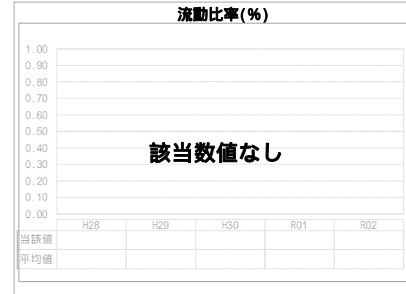
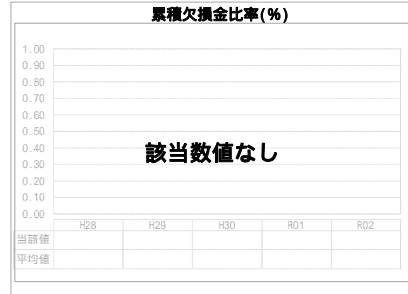
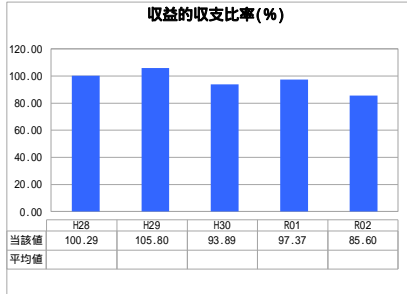
佐賀県 嬉野市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	特定地域生活排水処理	K3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	46.49	100.00	2,970

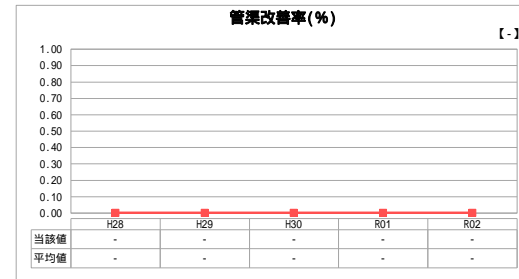
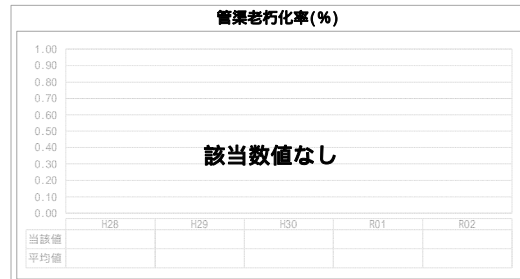
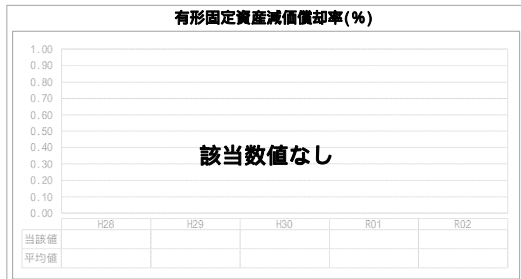
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
25,677	126.41	203.12
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
11,854	120.55	98.33

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
【】 令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

収益的収支比率
令和2年度の収益的収支比率は85.60%であり赤字となっている。使用料以外の収入（一般会計繰入金）に依存しているため、料金の見直しも含め経営改善を図っていく。また、昨年度より収益的収支比率が減少しているのは公営企業会計移行に伴う委託料の支払いが原因であり一時的なものである。

経費回収率
経費回収率は41.08%で、使用料以外（一般会計繰入金）から賅っているのが現状である。使用料が適切であるか見直す必要がある。

汚水処理原価
類似団体と比較して高くなっているが、事業進捗に伴う有収水量の増加により、改善が見込まれる。前年度より維持管理委託費が増加している。今後も維持管理費等の見直しを行い汚水処理原価を低くしていく必要がある。

施設利用率は、類似団体を弱冠下回っているが、事業進捗により改善が見込まれる。今後、処理施設の利用状況を考える必要がある。

水洗化率は整備中の事業であるため、平均値と比べると低い水準となっている。

2. 老朽化の状況について

平成27年度より整備を行っており、新規施設の老朽化はまだ発生していないが、附属物件の浄化槽の良好な管理には注意が必要である。

全体総括

事業開始から5年が経過したがまだまだ整備中であるため、水洗化率が類似団体と比較して数値が低いので加入促進を図る必要がある。

現在は、他会計からの繰入金が少ないが、今後の社会情勢の変化や財政状況に応じて使用料の改定を検討し、安定した健全経営を目指す。浄化槽や制度の利点を周知しながら、住民の衛生的な生活環境や水環境を守るため、事業を推進する。